

「オンライン版 三木武夫関係資料」は、明治大学史資料センター作成の目録をもとに、データベースとして再編したものである。データベース化にあたっては、適宜加筆・修正を加えた。データベースの各項目は、次の通りである。

(1) 資料番号

明治大学史センター作成の目録に付された「整理番号」を踏襲している。資料番号は枝番号で階層構造を示している。なお、原資料は、数次にわたって三木家から明治大学に受け入れられたが、二回目以降の受入資料に関しては、アンダーバーで受入回を示した（例：3_749-01 は、3 回目の受入資料、749-01 を意味する）。

(2) 簿冊名

元の簿冊やファイルの標題を付した。なお、検索上の利便性を考慮して、簿冊やファイルの形式でまとめられていない単独資料等についても、該当する「小分類」の事項名等を便宜的に簿冊名として付した。

(3) 資料名

基本的に標題がついているものには、その標題を記したが、無題のものについては、内容から判断して〔 〕とともに、新たな資料名を付した。

(4) 作成年月日

基本的に、原資料に付されている年月日を付した。

(5) 指定

文書作成の時点で指定された「極秘」「秘」などの指定区分である。

(6) 作成者、宛先

文書の発信者、起案者名等は、便宜的に作成者とまとめた。

(7) 備考

原資料に付された印や文書番号、書き込み等について記した。

(8) 編者注

内容説明を主とする。

(9) 形態

大きさ、用箋の種類、記載の手法等について記した。

(10) 数量

資料の枚数を基本とし、資料の形態によってはページ数の場合や冊数を記載した。

(11) 大分類・小分類

大分類として、時系列に、「池田内閣期以前」、「池田内閣期」、「佐藤内閣期」、「田中内閣期」、「三木内閣期」、「福田・大平内閣期」、「鈴木・中曽根内閣期」の7分類を設定した。明確に作成時期が特定できない場合も、資料内容や前後の資料から、便宜的に大分類を付与した。作成時期の類推が困難な資料は、一括して「その他」とした。小分類は、資料の内容、形態に沿って、大分類ごとに設定した。

なお、簿冊やファイルなどの原資料の一体性を優先して、個別資料の作成時期や内容とは異なる分類を付与したものもある。一方、「雑資料」などのファイルのように複数の時期の資料が混在している場合は、個別資料の作成時期を推定の上、極力、該当の分類を付与した。

・画像について

原資料そのものの劣化により、判読しがたい部分があることを了承されたい。